令和7年度
荒尾市当初予算案の概要

荒尾駅舎内に開設したコミュニティスペース　“あらおリビング”
あらお海陽スマートタウンの整備に合わせ、駅周辺エリアの魅力向上を目指します。

目次

1. 会計別予算規模	1P
2. 一般会計歳入予算	2P
3. 一般会計歳出予算（目的・性質）	3～6P
4. 財政状況（基金、地方債残高）	7～8P
5. 基本方針	9P
6　こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる	10P
6-1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる	11～12P
6-2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる	13～14P
6-3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる	15P
6-4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる	16P
6-5. 先進的で持続可能なまちをつくる	17～18P

予算規模

一般会計当初予算　274億7千万円

令和7年度会計別予算規模

会　計　名			令和7年度	令和6年度	当初予算の比較
一　般　会　計			274億7,000万円	263億6,000万円	＋11億1,000万円（＋4.2%）
特別会計	国民健康保険特別会計		69億180万円	72億9,148万円	△3億8,968万円（△5.3%）
	後期高齢者医療特別会計		10億5,332万円	10億204万円	＋5,128万円（＋5.1%）
	介護保険特別会計		59億915万円	57億9,399万円	＋1億1,516万円（＋2.0%）
	南新地土地区画整理事業特別会計		19億3,743万円	7億5,266万円	＋11億8,477万円（＋157.4%）
企業会計	水道事業	収益的支出	12億2,836万円	11億8,994万円	＋3,842万円（+3.2%）
		資本的支出	9億8,276万円	14億8,275万円	△4億9,999万円（△33.7%）
	下水道事業	収益的支出	13億4,406万円	13億3,368万円	＋1,038万円（＋0.8%）
		資本的支出	16億8,448万円	13億3,678万円	＋3億4,770万円（＋26.0%）
	病院事業	収益的支出	103億1,557万円	100億3,128万円	＋2億8,429万円（＋2.8%）
		資本的支出	9億9,110万円	16億5,677万円	△6億6,567万円（△40.2%）

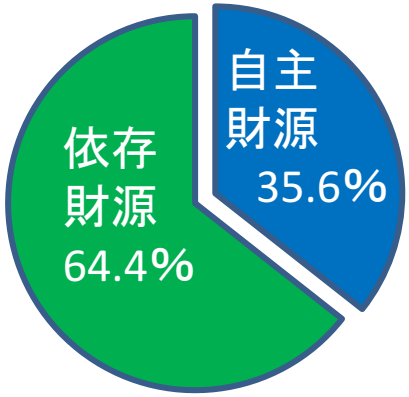
歳入予算の内訳

一般会計歳入予算

歳入は、市税や地方交付税など、その性質により区分することとなっています。また、市税、施設使用料などの「自主財源」と、国や県によって額が決められ、交付されたりする「依存財源」の2つに区分されます。

区　　分		説明	当初予算額	前年度比
自主財源			97億8,341万円	+4.3%
	市　　税	市民税や固定資産税等	54億3,234万円	+5.4%
	分担金及び負担金	保育料等	6,394万円	△16.6%
	使用料及び手数料	施設の使用料や 各証明書の交付手数料	5億3,425万円	△3.9%
	繰　入　金	基金などからの繰入金	26億2,412万円	+6.0%
	そ　の　他	寄附金や受託事業収入	11億2,876万円	+0.9%
依存財源			176億8,659万円	+4.2%
	地方交付税等	地方交付税や地方譲与税など、国が集めた税金などが一定割合で配分されるもの	69億　311万円	+0.2%
	国県支出金	特定の事業に対する国県からの補助金など	84億2,998万円	+12.4%
	市　　債	大きな事業を行うために国や銀行から借り入れるお金	10億9,050万円	△21.1%
	地方消費税交付金	地方消費税を財源として交付されるお金	12億6,300万円	+4.9%

財源構成



歳出予算の内訳

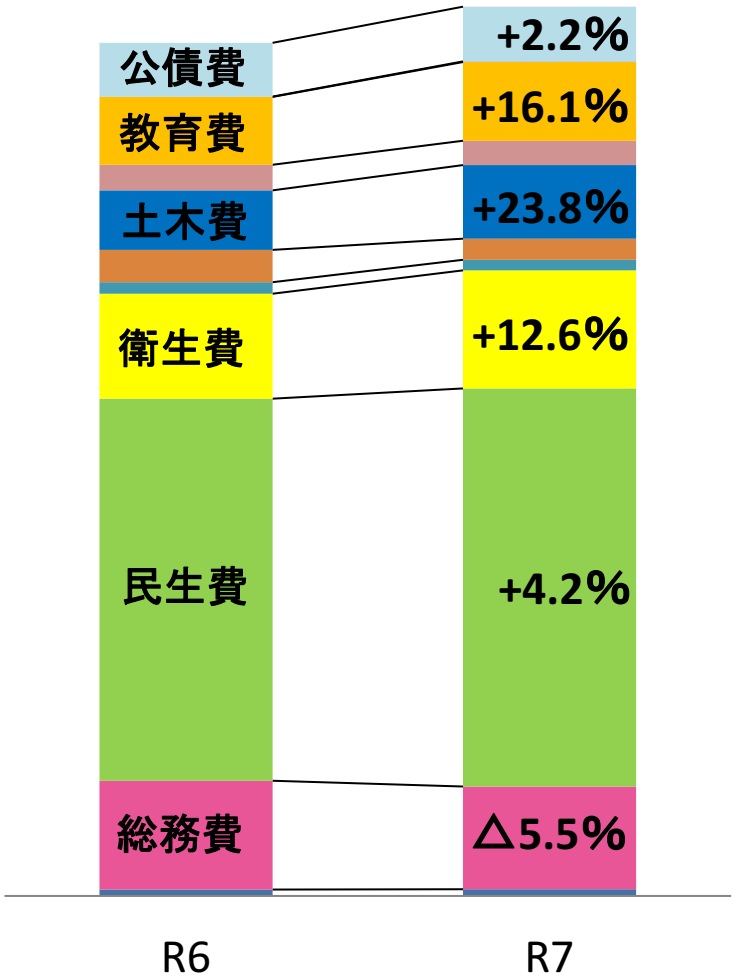
一般会計歳出予算【目的別】

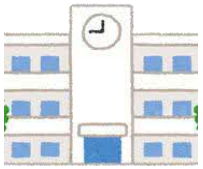
歳出は、民生費、土木費、教育費など、その目的により区分することとなっています。

区　分	説　明	当初予算額	前年度比
議　会　費	議員の報酬や議会事務、運営経費	2億　48万円	+3.1%
総　務　費	市全般的な管理事務などにかかる経費	31億6,735万円	△5.5%
民　生　費	社会生活を保障するための経費	122億6,700万円	＋4.2%
衛　生　費	市民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費	36億3,877万円	＋12.6%
農林水産業費	農林水産業の振興などにかかる経費	3億1,993万円	△10.2%
商　工　費	商工業の振興や観光事業にかかる経費	6億5,657万円	△34.4%
土　木　費	道路・公園・港湾・市営住宅などの維持、建設経費	22億6,243万円	＋23.8%
消　防　費	消防・水防・災害対策や救急活動にかかる経費	7億5,526万円	△4.4%
教　育　費	学校教育や生涯学習などの教育分野にかかる経費	24億2,497万円	＋16.1%
公　債　費	市の借金を返済するための経費	16億9,487万円	＋2.2%
そ　の　他	労働環境の維持改善や災害復旧にかかる経費	8,237万円	△9.3%
合　計		274億7,000万円	＋4.2%

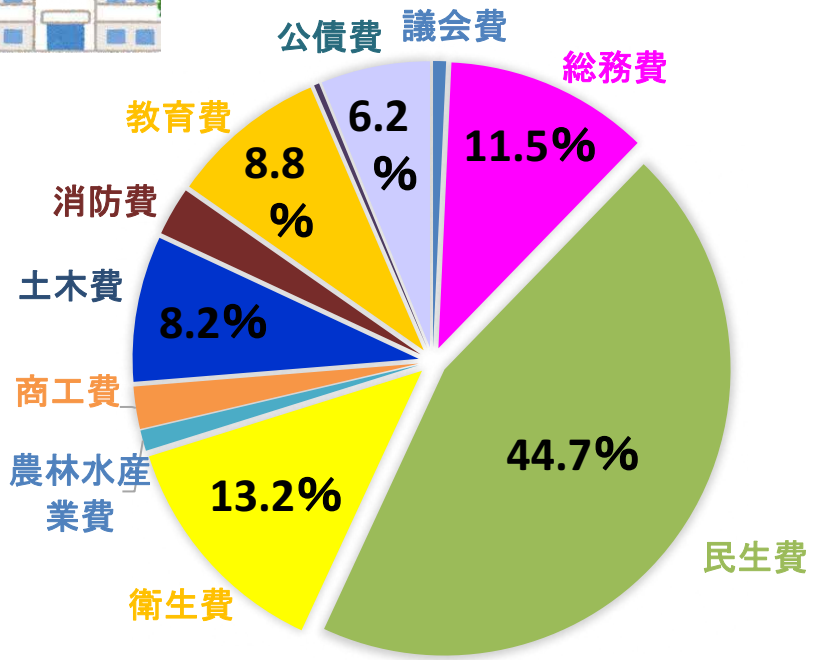
一般会計歳出予算【目的別】

歳出予算の推移





構成比



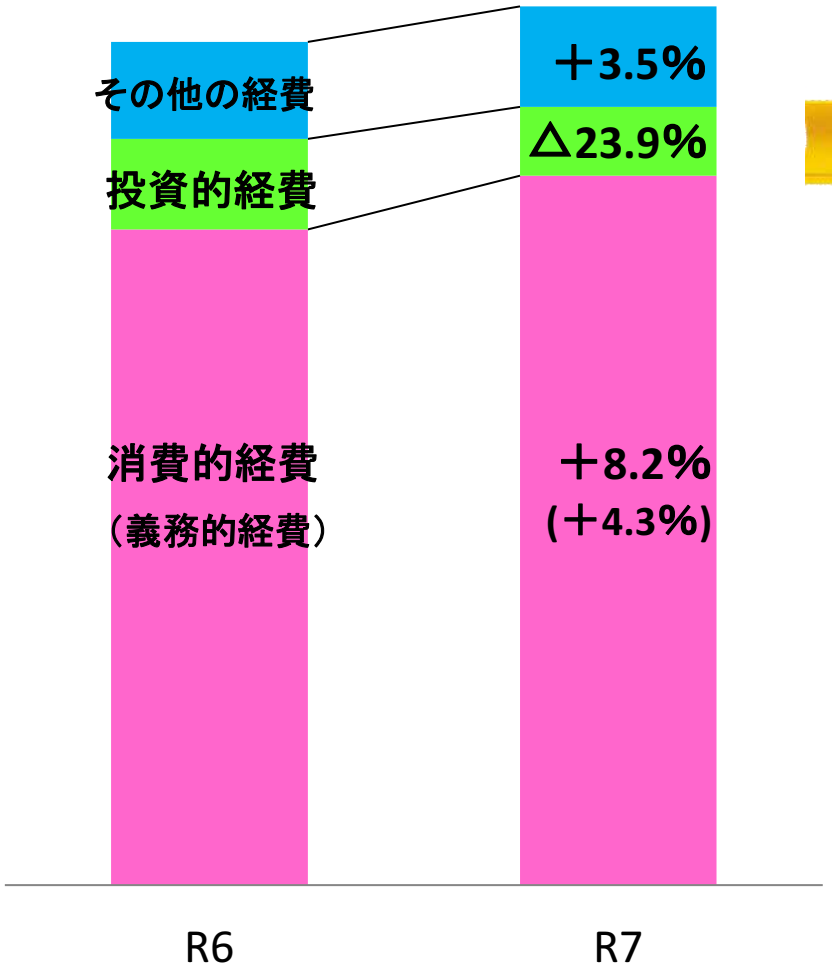
一般会計歳出予算【性質別】

歳出をその性質により分類すると、支出の効果がきわめて短期間で終わるものを「消費的経費」、道路・橋りょう、公園、学校などの建設や大規模改修など、社会資本の整備に要する経費である「投資的経費」、「その他の経費」に大別されます。

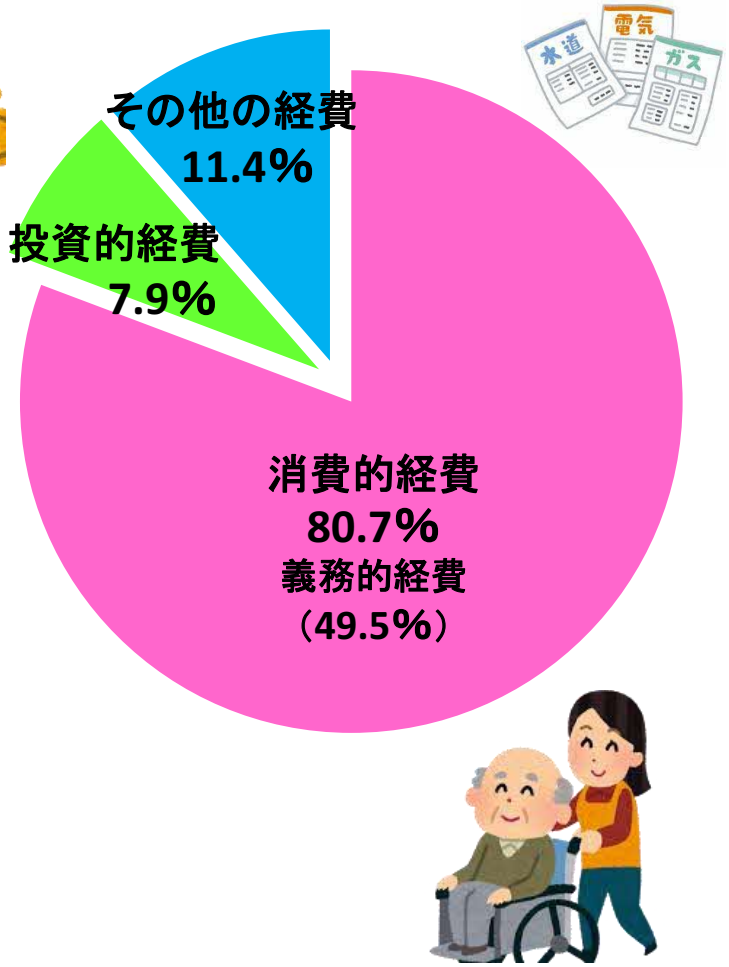
区　分	説　明	当初予算額	前年度比
消費的経費		221億7,711万円	＋8.2%
義務的経費	支出することが義務付けられている経費	135億9,526万円	＋4.3%
人件費	職員の給与や手当など	34億2,108万円	＋3.5%
扶助費	生活保護、高齢者・障がい者支援などの福祉、医療にかかる経費	84億7,931万円	＋5.1%
公債費	市の借金返済にかかる経費	16億9,487万円	＋2.2%
物件費	光熱水費、消耗品費、委託料など	46億1,832万円	＋26.3%
維持補修費	施設などの維持補修にかかる経費	2億3,209万円	△19.5%
補助費等	市民団体等への補助や関係団体への負担金	37億3,144万円	＋5.9%
投資的経費		21億5,790万円	△23.9%
普通建設事業費	公共施設やインフラ施設の整備にかかる経費	21億4,775万円	△23.9%
災害復旧事業費	自然災害により被災した公共土木施設等を復旧する費用	1,015万円	△14.9%
その他の経費		31億3,499万円	＋3.5%
積立金、出資金、貸付金	基金への積立金など	0万円	△100.0%
繰出金	特別会計や企業会計の必要経費を補てんするためなどの目的のために支出する経費	31億3,499万円	＋3.7%
合　計		274億7,000万円	＋4.2%

一般会計歳出予算【性質別】

歳出予算の推移



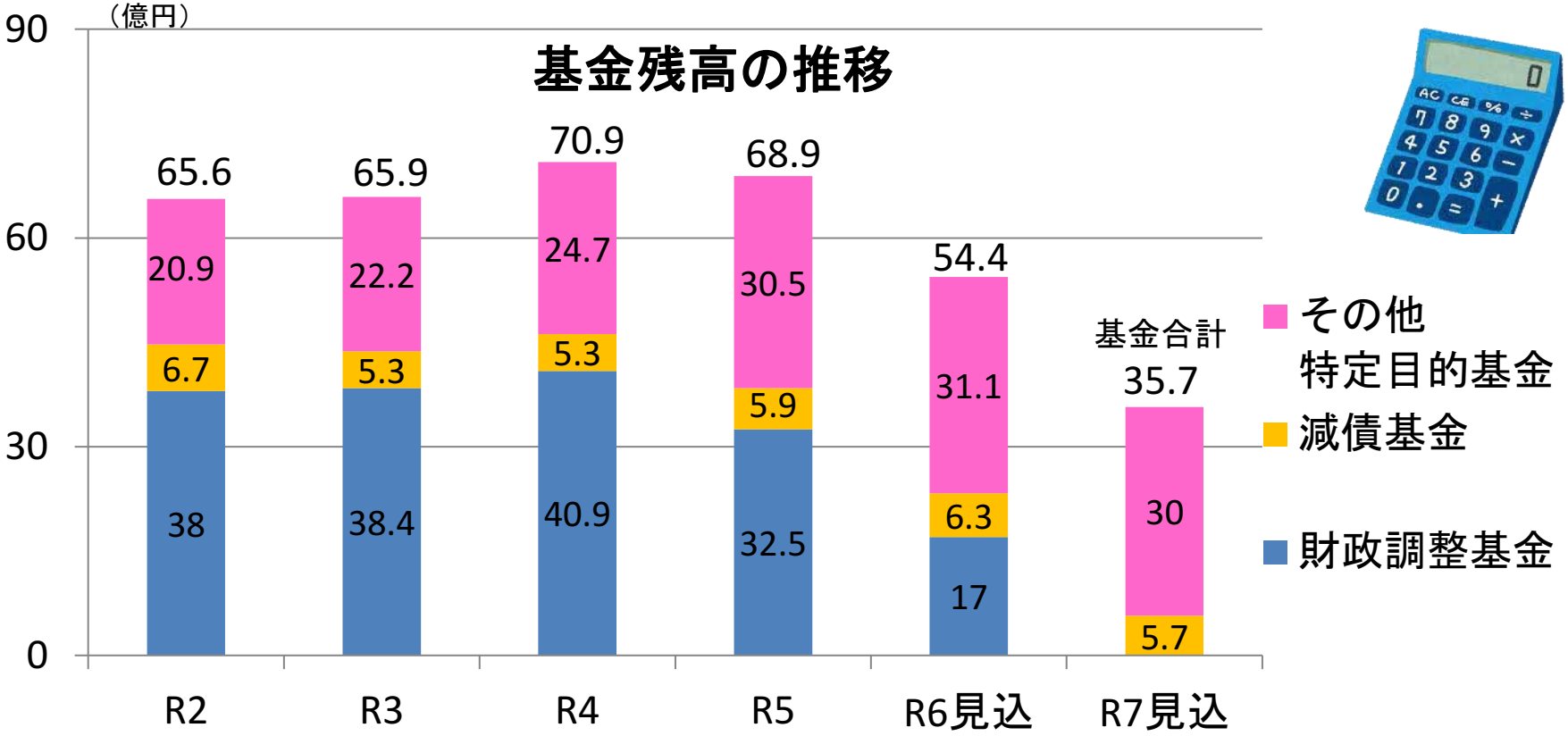
構成比



財政状況

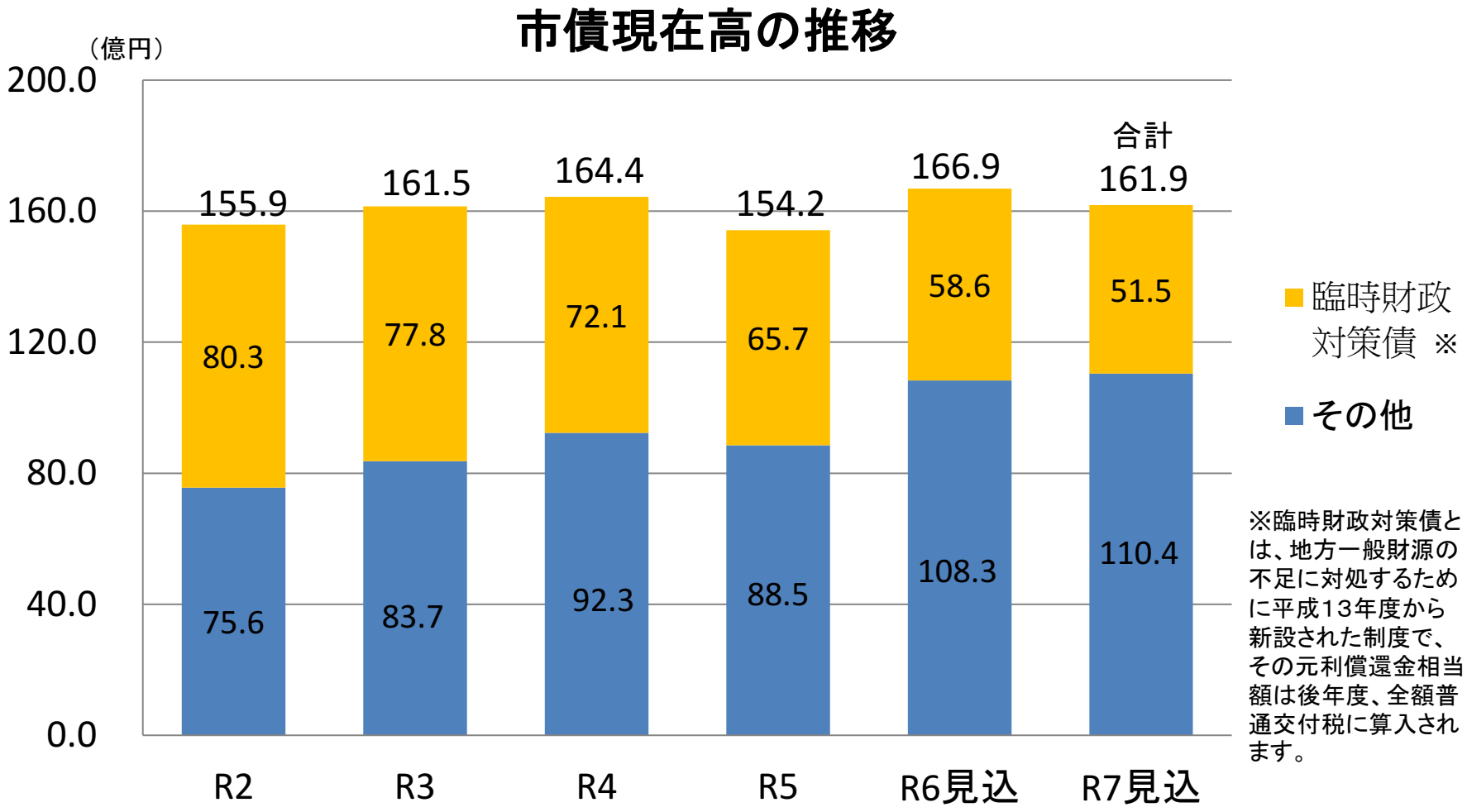
基金残高（市の貯金）

積立基金とは、本市の貯金のことです。災害復旧など臨時の支出や、経済状況の変動で収入（歳入）が足りないときや、ある特定の目的で事業を実施するときに取り崩します。



市債現在高（市の借金）

市債とは、本市の借金のことです。公共施設などを整備するための財源です。単年度に大きな負担をしないですみますが、後年度に地方債の元利償還金という形で将来の市民の負担になるので、借入れには十分気を付けなければいけません。



※臨時財政対策債とは、地方一般財源の不足に対処するために平成13年度から新設された制度で、その元利償還金相当額は後年度、全額普通交付税に算入されます。

当初予算編成の基本方針

荒尾市が目指す将来像

人がつながり幸せをつくる 快適未来都市

～「暮らしたいまち　日本一」を目指して～

新たなまちづくりを目指すため、重点戦略『あらお未来プロジェクト』に横断的目標「こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる」を設定し、積極的に推進していきます。

『あらお未来プロジェクト』

こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続可能なまちをつくる

こどもみんなも笑顔でいられるまちをつくる

新規

子育て世代のオンライン医療相談事業費　2，698千円

すこやか未来課

妊産婦及び子育て世代の医療に対する不安を解消することを目的に、オンライン医療相談を導入します。市内の子育て世代の方が、ご自身のスマートフォンやタブレット端末を利用して、24時間365日いつでもオンライン上で医師に相談ができるようになります。

※子ども未来基金を活用

拡充

児童見守りサービス導入事業　52，812千円

スマートシティ推進室

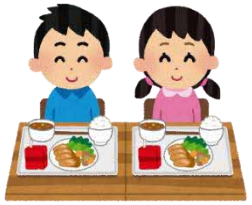
令和6年10月から市内小学校2校にて先行導入した、全児童に配布されているGIGAスクールタブレットの位置情報を活用した登下校の見守りについて、令和8年1月（予定）から市内の全小学校で導入します。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）、子ども未来基金を活用

継続

学校給食負担軽減事業　32，066千円

教育振興課



学校給食における保護者の経済的負担を軽減するとともに、学校給食の質・量を維持し、児童生徒に安全でおいしい給食を提供するため、令和7年度も引き続き物価高騰に伴う食材費増額分を補助します。

1．切れ目のない充実した子育て環境をつくる

継続

小中学校トイレ改修事業　29，000千円
（令和6年度3月補正　839，953千円）

教育振興課

市内小中学校にバリアフリートイレを設置します（小学校7校、中学校2校）。また、同時にトイレの改修（洋式化・乾式化等）を行い、衛生面の向上を図ります。残りの小中学校は、令和8年度に改修予定です。

拡充

小中学校ICT環境整備事業　815，595千円

教育振興課

GIGAスクール構想に基づき導入している児童生徒用タブレット端末等4，726台分の更新を行います。次期端末は、現在と同様、Wi-Fiのエリア外でも通信が可能な端末を採用し、校外学習や児童見守りサービスなど様々な場面での児童生徒の学習環境向上に役立てます。

※子ども未来基金を活用

継続

小中学校フリースクール事業　39，609千円

学校教育課

小学校1校と中学校全校に「ハートフルルーム」を引き続き設置し、児童生徒の不登校の解消及び未然防止を図ります。

1．切れ目のない充実した子育て環境をつくる

継続

青少年国際交流推進事業　　6，688千円

観光文化交流課

荒尾の未来を担う「グローカル」な人材を育成するため、宮崎兄弟と孫文の友情の歴史を礎として、市内の中学生約20名がシンガポールを訪問し、現地の中学生との対面交流を行います。
（前回は令和5年度に訪問）

※こども未来基金を活用

拡充

ICTを利用した郷土学習推進事業　　1，539千円

学校教育課

児童1人に1台配備されたタブレット端末を使い、郷土学習においてデジタルコンテンツやプレゼンテーションソフトを活用し、学校や地域のPRにつながる資料作成や学習発表を行います。令和7年度は、モデル校を追加し、2校（万田小・府本小）で実施します。

※こども未来基金を活用

2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる

新規

基幹相談支援センター事業　10，708千円

福祉課

障がい者やその家族への支援が適切に行われるよう、有明圏域2市4町共同で基幹相談支援センターを設置します。専門的な相談対応や虐待防止等に関する啓発、また地域の相談支援事業所に対して助言等を行うことにより、地域の相談支援体制を強化します。

新規

帯状疱疹予防接種事業　33，545千円

すこやか未来課

帯状疱疹を予防するワクチンについて、令和7年4月1日から予防接種法に基づく定期接種を開始します。対象者は原則65歳の人となりますが、65歳を超えた人は、令和11年度までの5年間に、70、75、80、85、90、95、100歳での接種が可能です。
（100歳以上の人は令和7年度に限り接種可能。）

2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる

継続

スマートヘルスケアサービス事業　157，775千円

スマートシティ推進室

将来の健診結果をAIで予測するサービスや、血液検査で将来の疾病発症リスクを予測するサービスで健康意識を高めながら、生活習慣の改善を徹底的にサポートする取組により、病気の予防や重症化の予防を推進します。市民一人ひとりが自身や大切な人の健康を管理できるスマートフォンアプリ「デジタル健康手帳」を活用して、保健師による健康に関する助言や支援を行います。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）を活用

拡充

図書館・学校連携事業　2，854千円

生涯学習課

小学校における国語の授業支援と、児童の読書推進による学力向上や豊かな心の育成のため、令和6年度に改訂した教科書に対応する推薦図書を市立図書館で購入し、市内全小学校に貸し出します。

※こども未来基金を活用

3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる

継続

荒尾市ウェルネス拠点施設整備事業　381，644千円
（令和6年度3月補正　1，097，143千円）

産業振興課

南新地地区ウェルネス拠点基本構想に基づき、道の駅、保健・福祉・子育て支援施設及び大屋根広場の整備を進めます。
・保健・福祉・子育て支援施設の行政サービス機能は令和8年4月開始予定
・道の駅、保健・福祉・子育て支援施設及び大屋根広場は令和8年6月開業予定
※令和7年4月に保健・福祉・子育て支援施設の愛称募集を予定しています。

継続

浜の活力再生事業　2，586千円

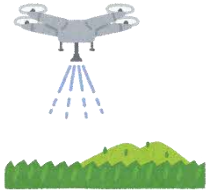
農林水産課

荒尾干潟でのマガキ養殖について、令和7年度は作業効率化のためカキクリーナーや水槽の購入費等を支援し、生産体制の強化を図ります。

継続

農業用機械・施設等整備事業　5，000千円

農林水産課



農業の効率化、省力化等を推進し、農業者の経営安定化を図るため、農業用機械や施設等の取得・整備に要する経費を補助します。

4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる

新規

万田坑世界遺産登録10周年記念イベント
2，135千円

観光文化交流課

万田坑の世界遺産登録10周年を記念し、大牟田市や宇城市等と連携したイベントや、県内の世界遺産を巡るスタンプラリーを行います。

拡充

自治体オリジナルメディアによる地域ブランド創出事業
35，903千円

総合政策課

地域活性化起業人及び地域おこし協力隊の協働による荒尾市公式メディア「ぎゃんすき！あらおちゃん」において、各種SNSでの情報発信や交流人口の拡大を図るためのイベント等を行います。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）を活用

継続

デジタル掛軸委託料
2，340千円

観光文化交流課

本市への誘客を促進するため、過去に万田坑や荒尾干潟で実施したデジタル掛軸イベントを実施します。

5. 先進的で持続可能なまちをつくる

継続

南新地土地区画整理事業特別会計
1，937，429千円

都市計画課

本市の地域経済の発展のために取り組んでおります南新地土地区画整理事業について、令和7年度は、事業完了に向けて換地処分、登記等の手続きを行います。

拡充

荒尾駅周辺地区整備事業　554，640千円
（令和6年度3月補正　174，503千円）

都市計画課

「人幸増加」、「交流、にぎわいの創出」、「利便性向上」の機能を有した多世代の市民や来訪者が集まる拠点を形成するため、令和7年度は、あらお海陽スマートタウン内の公園・緑地の整備（約3．0ha）及び遊具の設置、市道外磯境崎線道路改良に向けた用地取得を行います。

継続

南新地地区ウェルネス拠点形成プロジェクトマネジメント事業　12，774千円

スマートシティ推進室

あらお海陽スマートタウンの賑わい創出のため、令和8年度のエリアマネジメント団体設立に向けて、エリアマネージャーの募集、都市再生推進法人の指定及び地域再生エリアマネジメント負担金制度の活用に向けた準備等を行います。

5. 先進的で持続可能なまちをつくる

新規

遠隔窓口システム導入事業　6，168千円

市民課

保健・福祉・子育て支援施設の開業に向け、ビデオ通話を用いた遠隔窓口支援システムを導入します。併せて市民サービスセンターにも同システムを導入します。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）を活用

新規

EVパッカー車導入　18，273千円

環境保全課

リレーセンター東宮内にEV（電気自動車）塵芥車を1台導入します。
敷地内に設置する太陽光発電設備により発電した電力で充電し走行することで、従来の塵芥車よりもCO2排出量やランニングコストを軽減することができ、環境に配慮したごみ収集作業を行います。